

令和5年度 シラバス

教科	外国語	科目	SS 論理・表現 I	単位数	2	履修学年	1	学科・コース	普通科・理数科	
教科書	なし		副教材等	Take It Easy（センゲージラーニング）			担当者	木村・土田・ALT		
1. 科目の目標			2. 学習の進め方や留意点				3. 評価の観点と函中コンピテンシー			
言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うとともに、論理的な思考力を養い、論理の展開や表現の方法を工夫し、伝える能力を養う。 SS 論理・表現 I では、「話すこと [やりとり]」「話すこと [発表]」「書くこと」の発信力に特化した授業を行い、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて次のことができるようになることを目標とする。 1. 文脈にあった質問や答えを続けることで、情報や考え、気持ちなどを、やり取りを通して伝え合うことができる。 2. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、話して伝えることができる。 3. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、書いて伝えることができる。			①2単位のうち、1単位（SS 論理・表現 IA）は JTE（日本人英語教師）により副教材（Take It Easy）を使用しながら、「話すこと [やりとり]」重視の授業を行います。もう1単位（SS 論理・表現 IB）は ALT（外国人英語指導助手）と JTE とのチームティーチングにより、各種活動を通した「話すこと [表現]」重視の活動を行います。 ②「話すこと [やりとり]」「話すこと [発表]」「書くこと」の3領域を重視し、ディスカッションやディベート、スピーチやプレゼンテーション、エッセイライティング等の様々な活動を通して、論理的思考力と基本的な表現力を養います。 ③基本的に授業は全て英語で行われます。授業の中で英語を「使うこと」や英語で「考えること」が大切です。また、間違いを恐れず、楽しみながら、積極的にコミュニケーション活動に取り組みましょう。自分の意見を持つとともに、他者の意見を尊重し認め合う姿勢も大切にしてください。 ④定期考査はありませんので、パフォーマンステストや普段の授業の成果や理解を図るような課題、授業の取り組みで評価します。					知識・技能	思考・判断・表現	主体的な態度
							傾聴力		○	○
							思考力	○	○	
							協働力		○	○
							先見力	○	○	

4. 学習計画と評価規準

月	単元・学習内容	時間	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月～6月	●Self-introduction ●Pronunciation ●Take It Easy (Unit1) You and Me Meeting and Greeting People, Hesitating Present Tense Questions and Answers	2 3 3	・英語の発音を理解し聞き取ることができる。 ・英語の音声の特徴に注意しながら、適切に発音することができる。 ・授業内で扱った語彙についての理解を深め、適切に使用することができる。	・聞き取った情報をもとに、クラスメートについて紹介する英文を書くことができる。 ・英語の発音に注意しながら、簡単な質問に対して英語で応答することができる。	・聞き手や読み手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
		【8】	【評価方法】 リスニングテスト、スピーキングテスト、語彙小テスト	【評価方法】 ライティング、スピーキングテスト	【評価方法】 ライティング、スピーキングテスト、振り返り、授業の取り組み状況
7月～9月	●SSH Onuma Poster Session ●Show & Tell ●Take It Easy (Unit2) Growing Up Past tense Questions and Answers, Showing Interest, Talking About the Past (Unit3) At home and at School Expressing Frequency, Talking about News Using “How…?” Questions	4 4 6	・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きに注意して、これらの知識をスピーチの場面で適切に活用できる。 ・過去の出来事を述べる際に、英語の表現や文法の働きに注意しながら、適切に表現することができる。 ・授業内で扱った語彙についての理解を深め、適切に使用することができる。	・大沼について「食・観光・地理・歴史・自然」の中からテーマを選び、ポスターを活用しながら、英語で適切に情報を伝えることができる。 ・自分自身の伝えたいことについて、論理の展開や表現の方法を工夫しながら、英語でスピーチすることができる。 ・日常的な話題について、具体例を用いながら、英語で適切に表現することができる。	・聞き手や読み手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
		【14】	【評価方法】 ポスターセッション、Show & Tell、ライティング、語彙小テスト	【評価方法】 ポスターセッション、Show & Tell、ライティング	【評価方法】 ポスターセッション、Show & Tell、振り返り、授業の取組状況
10月～12月	●Skit Contest ●Speech ●Take It Easy (Unit4) Going Out Making Plans, Saying No to Invitations, Talking About Activities (Unit5) Food and Drink Expressing Likes and Dislikes, Using Polite Expressions, Ordering in a Restaurant (Unit6) The Future Future Tense Questions and Answers, Agreeing and Disagreeing, Expressing Certainty and Uncertainty	4 4 9	・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きに注意して、これらの知識をスピーチやスキットの場面で適切に活用することができる。 ・授業内で扱った語彙についての理解を深め、適切に使用することができる。	・日常的な話題や社会的な話題について、論理の展開や表現の方法を工夫しながら、英語で情報や考えを伝えることができる。 ・自分の意見を、具体例や理由を併せて、まとまりのある文章で書くことができる。	・聞き手や読み手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
		【17】	【評価方法】 スキット、スピーチ、語彙小テスト	【評価方法】 スキット、スピーチ、ライティング	【評価方法】 スキット、スピーチ、振り返り、授業の取り組み状況
1月～3月	●Individual Presentation ●Speaking Test ●Take It Easy (Unit7) Travel Talking About Location, Ending Conversations, Asking for and Giving Directions (Unit8) Entertainment Asking for and Giving information, Asking for Repetition, Talking about Entertainment (Unit9) Staying Healthy Describing Routines, Using Numbers, Giving instructions	7 2 6	・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きに注意して、これらの知識をプレゼンテーションの場面で適切に活用できる。 ・ペアで Follow-up questions を交えながら、英語でやりとりをすることができる。 ・授業内で扱った語彙についての理解を深め、適切に使用することができる。	・日常的な話題や社会的な話題について、論理の展開や表現の方法を工夫しながら、英語でプレゼンテーションをすることができる。 ・身近な話題について、英語で情報や考えを的確に表現することができる。	・聞き手や読み手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
		【15】	【評価方法】 個人プレゼンテーション、スピーキングテスト、語彙小テスト	【評価方法】 個人プレゼンテーション、スピーキングテスト、ライティング	【評価方法】 個人プレゼンテーション、スピーキングテスト、ライティング、振り返り、授業の取組状況
	合計	54			